

平成24年 2月期 売上客数前年比-**確報**-

◆靴部門		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	-17.3			-17.3					-17.3	
	客数	-19.6			-19.6					-19.6	
	客単価	2.8			2.8					2.8	
全店	売上	-18.5			-18.5					-18.5	
	客数	-20.8			-20.8					-20.8	
	客単価	2.9			2.9					2.9	
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上										-17.3
	客数										-19.6
	客単価										2.8
全店	売上										-18.5
	客数										-20.8
	客単価										2.9
■全社		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	-17.3			-17.3					-17.3	
	客数	-19.6			-19.6					-19.6	
	客単価	2.8			2.8					2.8	
全店	売上	-18.6			-18.6					-18.6	
	客数	-20.9			-20.9					-20.9	
	客単価	2.9			2.9					2.9	
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上										-17.3
	客数										-19.6
	客単価										2.8
全店	売上										-18.6
	客数										-20.9
	客単価										2.9

2011年3月の概況

当月の全社全店売上前年比は▲18.7%、全社既存店売上前年比は▲17.5%だった。

靴部門の全店売上前年比は▲18.6%、既存店売上前年比は▲17.5%。

当月は、3月11日に発生した東日本大震災の影響で東北地区および関東地区の一部が被災し一時営業不能となった店舗が続出したほか、関東全域の計画停電の影響や全国的な消費の冷え込みを受けて既存店売上が大苦戦を強いられた。また広告自粛の影響で、東北地区・関東地区を中心にチラシ販促やTVCMが中止となり、これも既存店売上にとっては大きなダメージとなった。部門別に見ても、全ての部門で既存店売上が減少。好調に売れたのは、女性用トーニングシューズの新PB「セダー・クレスト デュオモーションズ」や高品質・低価格の統一販促「990プロジェクト」の商品などにとどまった。販売点数は2割程減少したものの、販売単価は4%程度上昇した。

<東日本大震災の被災状況について>

① 従業員の安否

3月31日現在、弊社社員およびパートの安否は全て確認され。人的な被害は皆無。

② 店舗の被害

A. 3月11日時点で、被災により営業不能となった店舗数---

東北地区64店舗 関東地区158店舗 合計初期被災店舗数---222店舗

B. 3月31日時点で、営業不能となっている店舗数-----

東北地区9店舗 関東地区5店舗 合計営業未再開店舗数---14店舗

被災復旧率---94%

※既存店---13ヶ月以上稼動している店舗が対象とし、その店舗の前年同月との対比。

※月初発表の前年比数値は速報値。中旬以降、確報値を掲載いたします。

Chiyoda